令和9年4月スタートに向け

第5次総合計画 策定中!

まちづくりを“誰か”の仕事にしない、一人ひとりが主役の共創するまちへ

総合計画とは、田原本町の未来の設計図です。これからの10年間で目指すまちの姿を描き、人口減少が進む中でも、暮らしの質や豊かさを高める「縮充」の考えのもと、住民の皆さんと一緒にこのまちをつくっていくための計画です。

問　企画財政課　34-2083



はじめに

「つながりと助け合い推進条例」を制定

令和6年12月に制定した「田原本町つながりと助け合い推進条例」は、一人ひとりが地域の課題を“自分ごと”として捉え、主体的な関わりと助け合いを促すことを目指すものです。

この条例を基盤に、住民協議会（自分ごと化会議）を開催し、未来に向けた取り組み（第5次総合計画の策定）が動き出しています。

条例

策定する上で大事にしていること

★みんなのための総合計画づくり

まちづくりは、行政の中だけで完結するものではありません。本計画は、住民や事業者、田原本に関わるすべての人と共に創る「みんなのための総合計画」です。住民の皆さんがまちの未来を自分ごととして捉えると同時に、行政職員一人ひとりも自分ごととして地域課題に正面から向き合い、計画を定めます。行政と住民が互いに責任を分かち合い、共に知恵を出し合ってまちを創り上げる「共創自治」の実現を大切にしています。

★住民協議会の実施

「みんなのための総合計画」を形にするため、計画策定プロセスに住民の皆さんに参加していただく「住民協議会（自分ごと化会議）」を全4回（5ヵ月）にわたり実施しました。無作為抽出で集まった幅広い世代の人たちが、田原本の現状や課題、目指すべき未来について自由に意見を交わし「自分ごと」として熱意ある議論を重ねていただきました。ここで寄せられた多様な声こそが、本計画の方向性を定める確かな土台となっています。

策定プロセス



この計画は、住民の皆さんの声を大切にしながら作っています。アンケートや住民協議会（自分ごと化会議）でいただいた意見をもとに、有識者や関係者による検討を重ね、パブリックコメント（意見募集）も実施し、総合計画の根幹となる部分については議会の議決を経て策定されます。

▶総合計画策定委員会とは

庁内の職員で構成した組織です。第４次総合計画の振り返りや、第５次総合計画の政策・施策の方向性を検討し、実現可能な計画案をつくります。

▶基本構想審議会とは

外部の有識者や公募によって選ばれた住民などが参加する組織です。総合計画の根幹となる部分について議論、意見を出し合います。



【基本構想審議会】
総合計画の根幹となる部分の案が取りまとめられ、町長へ答申されました。



【住民協議会の様子】
中学生から 80 代まで約 50 人が参加し、今後 10 年間のまちづくりについて意見を交わしました。



【提案書手交式】
代表者は、「田原本が好きであり、変化してもその想いを変えたくない。未来のまちを自分ごととして考え、住民協議会に臨みました。」と未来への熱意を述べられたのち、提案書を町長へ手渡されました。

熟議の結果

◆総合計画の根幹となる部分について９月議会での審議を経て、決定しました！◆



第５次総合計画について

＼住民の皆さんと共に築き上げる未来の設計図として、実現に向けた準備をしっかりと進めていきます／